

●一次検査結果

| | 対象者数 (人) | 受診者数 (人) | | 判定率 (%) | 結果判定数 (人) | | | |
|----|-------------|----------------|------------|-----------------|------------------|----------------|------------|---------|
| | | 受診率 (%) | うち県外 受診 | | 判定区分別内訳 (割合 (%)) | | | 二次検査対象者 |
| | | | | | A | | B | |
| 合計 | 367,649 | 300,473 (81.7) | 9,511 | 300,473 (100.0) | 154,605(51.5) | 143,574 (47.8) | 2,293(0.8) | 1 (0.0) |

A判定：99.2%

●結節・のう胞の人数・割合

| | 結果確定数 (人) | 結果確定数に対する結節・のう胞の人数 (割合(%)) | | | |
|----|-----------|----------------------------|-------------|----------|----------------|
| | | 結節 | | のう胞 | |
| | | 5.1mm以上 | 5.0mm以下 | 20.1mm以上 | 20.0mm以下 |
| 合計 | 300,473 | 2,275 (0.8) | 1,713 (0.6) | 12 (0.0) | 143,899 (47.9) |

B判定

※5.0mm以下、20.0mm以下であっても、甲状腺の状態によってはB判定となる場合がある。

●二次検査結果

| | 対象者数 (人) | 受診者数(人) | | 確定率 (%) | 結果確定数 (人) | | | |
|----|-------------|--------------|--------------|-----------|------------|--------------|------------|--|
| | | 受診率 (%) | | | 次回検査 | | 通常診療等 | |
| | | | | | A 1 | A 2 | うち細胞診受診者 | |
| 合計 | 2,293 | 2,130 (92.9) | 2,090 (98.1) | 132 (6.3) | 579 (27.7) | 1,379 (66.0) | 547 (39.7) | |

●細胞診結果

悪性・悪性疑い 116人 男性：女性 39人：77人
 平均年齢 17.3±2.7歳 (8-22歳)、震災当時14.9±2.6歳 (6-18歳)
 平均腫瘍径 13.9±7.8mm (5.1-45.0mm)

●悪性・悪性疑い116人のうち、手術施行102人 (良性結節1人、乳頭癌100人、低分化癌1人)

第27回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

1回目の検査である先行検査(平成23～25年度)の最終結果を示します。

一次検査でA判定は全体の99.2%、B判定は0.8%でした。A 2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、ということが分かります。

二次検査では、精緻な超音波検査等を経て、二次検査受診者の34%、つまり約3人に1人はA判定相当として、一次検査のA判定者同様、次回2回目の検査の受診をお勧めいたしました。一次検査では疑わしいと思われる方については、総合的、客観的に判断するために、念のためB判定として二次検査でより詳しく検査をした上でA判定相当となる方等もここには含まれているためです。

二次検査結果が確定した方の66%の方は通常の保険診療に移行し、多くは半年後や1年後に受診をいただくようご案内しています。この間隔は、個別にその方の症状に合わせて医師が判断しています。

39.7%の方は穿刺吸引細胞診を受け、その結果116人の方が悪性、悪性疑いの判定となり、102人の方には手術が行われました。悪性、悪性疑いの方全てがすぐに手術を受けるのではなく、個別の状態に合わせて医師、ご本人、ご家族の方へのご説明、ご相談を経て対応を決めていきます。

本資料への収録日：平成28年3月31日

改訂日：平成31年3月31日